

怒りの声 住民と議会無視 竹中工務店・スカパーに

12基の巨大アンテナ建設計画
電磁波による健康被害の不安



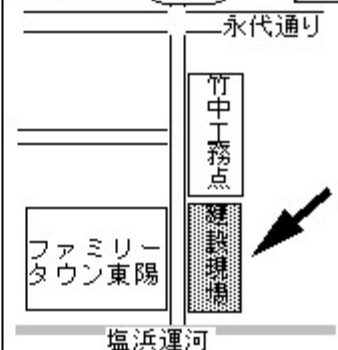
アンテナ設置反対の垂れ幕＝ファミリータウン東陽

スカパーアンテナ設置は許さない
原告団長 猪又 和子
早いもので、運動を始めて二年、提訴して一年半が過ぎた。この間、スカパーが言っていることは、
一つ、電磁波は防護指針（電磁波に関する国の規程）を下回っているから安全。しかし、被害が起き易いのは胎児・乳児・子ども。発症は何十年後？等不安材料は多々。二つ、住民への説明はしているというが、実際は建築主の竹中にまる投げ。出てきたのは一回、一貫して住民無視。企業倫理の欠片も無いスカパーを許せない！

スカパーとは (@ @)

社名は、(株)スカパーフェクト・コミュニケーションズ。1994年設立、港区赤坂に本社・資本金500億、加入件数423万1000件(2006年)。通信衛星 (cs) などを利用して、約290の日本最多チャンネルで多様な番組を提供している。

略図



人口密集地に、住民や江東区議会を無視して、巨大アンテナ建設を進めるスカパーと竹中工務店。いま「企業の社会的責任を果たせ」と怒りの声が上がっています。
新砂1丁目に12基ものスカパー巨大アンテナ建設計画が進み、すでに1基が建設されました。隣接する東陽2丁目のファミリータウン東陽など近隣住民は電磁波による21世紀の公害といわれる健康被害の不安から、一昨年「アンテナ設置建設差止請求」を東京地裁に提訴しました。
そして区議会をはじめ関係各機関に陳情をつづけています。ところが、スカパーとその設計・施工者の竹中工務店は住民に対して情報公開せず、「諸法規に基づいて粛々と処理させていただけ」との文章を送付し、勝手に工事を進めるとの住民無視の態度を取り続けています。

住民にも議会にも情報公開せず、不誠実な企業

陳情を受けた区議会建設委員会が、委員会の確認にもとづいて委員長が竹中工務店、スカパーから事情説明を受けるため、事前に知らされていた竹中の担当者やその連絡はありませぬ。あまたの要請をしましたが、双方に「帰ったら連絡を」との返事を繰り返して、建設委員会が改めて両社に再度「建設委員会の疑問に考えを聞かせて欲しい」と文書で申し入れをおこなったところ、スカパーは「かかる文書を受領した」とは誠に遺憾、竹中工務店は「江東区議会建設委員会に対する対応は、今後差し控えさせていただきます」と、繰り返して無責任な議会無視の態度を押し通しています。

傲慢不遜の態度は許せません

孫谷 良夫区議(建設委員会委員長)
電磁波による健康被害は、日本での研究が遅れており、我々にとってもなじみの薄い問題でした。そのため、建設委員会として、設置・運用する両社に対し、その特性などについて説明するよう求めてきました。ところが、両社は、居留守と聞き直りという傲慢不遜な態度を取りました。これは議会と、議員を選出した区民をも冒瀆するものです。審議を深め、この事実を広く知らせ、社会的責任を果たすようさらに求めていきます。

何でこんなところにこんなものが！ 荻野晃也理学博士の講演要旨



3月2日、住民大集会で「現場を見ましたが、『こんなところに何でこんなものを』と悲しく思いました。健康の定義について世界保健機関は『精神的、社会的に安寧した状態であり、単に病気にかかっていないことではない』としています。すでにスカパーの建物、12基の巨大アンテナ建設は、みなさんを精神的、社会的には不健康にしています」と語り、「エネルギーの高い電磁波は、細胞の分子・原子を原子核と電子とにバラバラに分離することが出来る」とのべ、「欧米では送電線や携帯電話によって白血病や脳腫瘍になったという訴訟が相次いでいる」と紹介、電磁波の健康への影響について講演しました。

朝顔

区と業者が提携して実施している「お魚屋さんの料理教室」に参加した。生徒約40人、先生約10人。区の補助と僅かな参加費による教室だから、豊富な材料費を考慮すると、先生の魚屋さん、八百屋さん手弁当なのだろう▼実施の日時、内容も違うが、共通して先生方が力説したのは、「スカパーの魚(野菜)と比べてください」「調理の仕方は違わず、店に聞いてください」と言うことだった▼市場で売っている時り、お客さんの要求に答える姿勢が溢れている。しかし、いずれも大型店との競争に苦戦、経営危機であることが窺みでている▼わが街では、八百屋は花屋を兼ねて一軒しかない、入ってみると、不揃いだが、新鮮な野菜がならんでいた。残念ながら魚屋さんはない▼江東区は「地域経済活性化条例」を制定したが、業者への具体的支援策がない。業者の現状を知らないからだ。商店街の衰退は区の町並みの衰退、住民が思うコミュニティの破壊でもある。まず区が、商工業者の実態を自ら把握し、その痛みを共有することが求められている。



平和・くらし風土記 31

三井周二さんに聞く 下町から生まれた建設職人の組合 東京建設従業員組合

1957年4月20日、大工、左官、板金、石工、農など職人の健康、労災適用等の社会保障を求め、組合結成がよびかけられます。6月17日、29人の東京建設従業員組合（東建従）は扇橋3丁目に事務所をおいて、日雇健保擬制適用の認可を受け、全国土建総連東京都連合会に加盟します。東京土建江東支部結成の一年前です。

書記長として長年組合活動に専念した三井周二さんが、常任書記となったのはその年の暮れでした。「事務所、即ち初代組合長江刺氏宅の4畳半・・・役員に紹介されたわけだが、ぐるっと輪になった数名の真ん中に一升ビンが立てられ、茶碗に酒が注がれた。まさに野武士か山賊の酒盛りのような有様に、純情紅顔の私はど肝を抜かれた」と述懐しています。



木場の木材合間に学んで職人の町の一角から立ち上がった東建従は、翌年には日本橋、江戸川、葛飾に支部を結成。60年からはメーデーや安保闘争に参加し、組合員拡大をすすめて区内でも城東支部（250人）、深川支部（450人）が相次いで結成されます。

65年には海辺に東建従本部会館を建設し、組合共済も発足しました。10周年を迎えて組合員数は1700人、家族を含めると5000人を超える組織となり、全国的な共闘で国政を動かすような驚異的な発展を遂げました。

この年に革新新政が誕生。江東では夢の島で第5福竜丸が発見され、その保存運動の先頭に三井さんの姿がありました。いま、東建従の本部は江戸川に移りましたが、城東と深川に各3支部が健在、江東区社会保障推進協議会や税制民主化協議会の一翼を担っています。

7月8日、江東文化センターホールにおいて、江東区社会保障推進協議会主催

「ムーア先生、急患です。」
シッコ

マイケル・ムーアの「シッコ」が上映されました。ムーア監督の最初の取材は、医療保険にかかっている人々、その証言は超大国アメリカの医療制度がひきおこした悲劇を語ります。そして、保険業界の献金を懐にした政治家が決める医療民営化のシステムと、高い治療費負担、検査や受診抑制など、医師をかかえる保険会社の利潤追求の悪辣な手法を告発します。

- ### 8月の行事案内
- 3日(日) 18時30分 東京ガス跡地への築地移転問題学習会、江東区産業会館
 - 5日(火) 18時30分 戦争体験を語り継ぐつどい、産業会館
 - 10日(日) 12時20分 戦争と平和を語り継ぐつどい、東京大空襲資料センター集合
 - 22日(金) 18時30分 第四回平和のつどい砂町文化センター、つどい実行委員会



究明された地球温暖化の要因

大型スクリーンに写される図表や説明で、温室効果ガスの種類、気候変動、平均気温の上昇の仕組が解明されていきます。07年IPCC(気候変動に関する国際機関)の報告書では、世界の平均気温の上昇(0.76℃)は産業革命以来の先

CO2排出削減の国際的とりくみ

国際的には「共通だが差異ある責任」が合意され、先進国の歴史的責任が問われています。

人類の存亡をかけた政治課題

個人の家庭でできる温室効果ガス削減は全体の6%、産業界への規制こそが決定的です。(図表2参照)産業界の具体的な中・長期の

削減目的を掲げた協定や化石燃料への環境税(炭素税)、自然エネルギー普及など、温暖化対策のための法律、税制、予算などの対策を、政府や自治体に向けていく行動がよびかけられました。

「民間の保険に入るしかないアメリカの医療の実態にショック。支払い能力がなくなると病人を慈善施設に放り出す冷たい仕打ち。国民皆保険の日本でも度重なる医療改革で、金がなければ十分な医療が受けられなくなっている。医療費が無料のイギリスやフランスのように日本も」という思いを強くした映画だった」

保障されない消防士や救命ボランティヤを、グアンタナモ米軍基地内にあるテロ実行犯収容所の医療施設へ伴うも、拒絶されるとキューバに上陸。そこで先進的な手厚い治療を受けることができたのです。

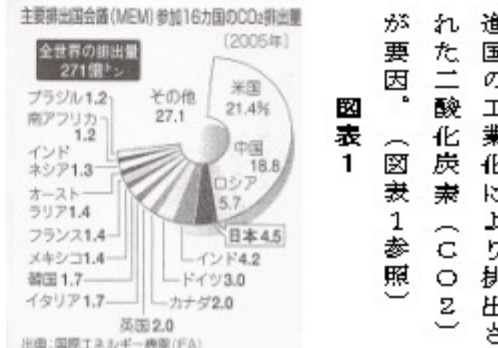
当日520人の入場者の中から、70代男性に感想を伺いました。

「民間の保険に入るしかないアメリカの医療の実態にショック。支払い能力がなくなると病人を慈善施設に放り出す冷たい仕打ち。国民皆保険の日本でも度重なる医療改革で、金がなければ十分な医療が受けられなくなっている。医療費が無料のイギリスやフランスのように日本も」という思いを強くした映画だった」

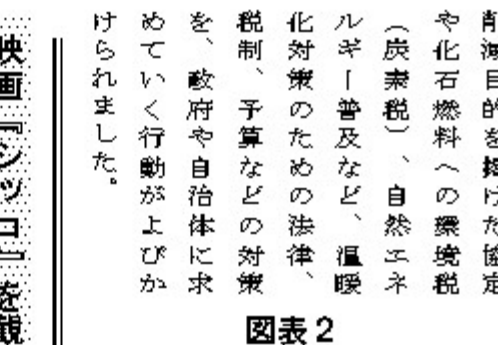
新婦人江東支部環境セミナー第一弾 ストツプ地球温暖化!

「私たちはできることは」

新婦人は洞爺湖サミットに向け「サミット行動」を提唱。江東支部は12日午後、気候ネットワークの畑直之さんを講師に「待ったなしの温暖化対策を考える会」を、小松橋区民館ホールで35人が参加して開催しました。



先進国の一人当たりのCO2排出量は、アメリカが20.57トン、カナダ20.02トン、日本は9.86トンで中国の2.8倍、発展途上国の100倍になります。日本の排出量は安上がりの石炭火力発電など、経済効率追求の産業界によって、1990年比で6.2%増えました。京都議定書で義務づけられた4年後の目標達成のためには、今から、12%以上の削減が求められます。



映画「シッコ」を観る

「テロより怖い医療制度」を告発

「民間の保険に入るしかないアメリカの医療の実態にショック。支払い能力がなくなると病人を慈善施設に放り出す冷たい仕打ち。国民皆保険の日本でも度重なる医療改革で、金がなければ十分な医療が受けられなくなっている。医療費が無料のイギリスやフランスのように日本も」という思いを強くした映画だった」